

教材教具	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
パペット人形	高	美術 Ⅱグループ (美術)	宮田充規

<ねらい>

- ・教師と一緒に安全に気をつけてかがり縫いに取り組む。
- ・教師の作り方をよく見て、しっかり聞き、作り方を理解して取り組む。
- ・できあがりイメージしながら制作する。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

不織布に縫い針を使ってかがり縫いで人形を作った。初めは鉄製の縫い針は慣れていないので安全面を考えプラスチック針で行った。縫い方がわかり慣れてきた生徒から順に金属の刺繍針に変更をした。

教師が布に印をつけて、順に通して縫っていった。縫う経験を繰り返すうちに印の間隔を狭くしてもできるようになった。生徒によっては印をつけなくてもほぼ等間隔で縫えるようになった生徒もいた。

できた布の中に綿を入れた。目や口はイラストを見せて自分で選び、顔を描く練習をして意識を高めた後に、教師と一緒にフェルト布を切り貼って制作した。

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

どの生徒も経験を積むと安全に1人で縫う活動ができた。



<その他（材料、費用、購入先等）>

不織布、綿、糸、プラスチック針、刺繍針

綿、フェルト布、木工ボンド



